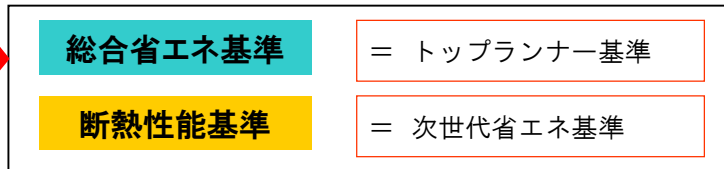




- 次世代省エネ基準に適合している場合、総合省エネ基準への適合とあわせて、住宅省エネラベル適合性判定は、左図のように「総合省エネ基準」及び「断熱性能基準」の表示をすることができます。
(「断熱性能基準」のみでの表示はできません)

技術基準の整理と注意点については、以下をご確認ください。



断熱性能基準 = 次世代省エネ基準

以下の何れかに適合すること

次世代省エネ基準に適合している
(結露防止対策は留意事項)

OR

ハウスプラスの評価書等 (※1) により断熱性能基準に適合している


(※1) 評価書等とは、設計住宅性能評価書 (省エネ等級4)、建設住宅性能評価書 (省エネ等級4)、長期優良住宅認定通知書、長期優良住宅技術的審査適合証、フラット35S (竣工) 適合証明書 (省エネ基準適合) になります。



総合省エネ基準 = トップランナー基準

1. 「算定用プログラム」の断熱性能区分は (ウ) ※2 を選択する

算定用プログラム



断熱	暖房	冷房	換気	給湯	照明
構造の種類		<input type="radio"/> 木造(軸組構法) <input type="radio"/> 木造(軸組壁工法) <input type="radio"/> RC造 <input type="radio"/> S造(外張・内張断熱工法) <input type="radio"/> S造(外張・内張断熱工法以外の)			
入力方法の選択		<input type="radio"/> Q値(熱損失係数)を入力する <input type="radio"/> U値(熱貫流率)を入力する(床断熱) <input type="radio"/> 断熱材のR値(熱抵抗値)を入力する <input checked="" type="radio"/> 断熱性能の区分を選択する			

断熱性能の区分	選択区分	等級
	<input type="radio"/> -	等級2相当
	<input type="radio"/> (ア)	等級3相当
	<input type="radio"/> (イ)	
	<input checked="" type="radio"/> (ウ)	等級4相当
	<input type="radio"/> (エ)	
	<input type="radio"/> (オ)	

その他、設備機器の算定をして
基準達成率を100%以上としてください

2. 「設計内容説明書」の断熱性能区分は (ウ; 次世代省エネ基準適合) ※2 を選択する

ハウスプラス住宅保証 (株) ホームページよりダウンロード可能

断熱性能基準	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代省エネ基準への適合
判断等の基準	<input type="checkbox"/> 算定用プログラムによる
いづれか一つを選択	<input type="checkbox"/> 算定用シートによる
断熱性能区分等	<input checked="" type="checkbox"/> (ウ: 次世代省エネ基準への適合確認済)
いづれか一つを選択	<input type="checkbox"/> (エ) () ← 弱
	<input type="checkbox"/> (オ) () ← 弱
	<input type="checkbox"/> 算定用プログラム Q値(熱損失係数)入力
設計内容説明書 (総合省エネ基準)	
	<input type="checkbox"/> 算定用プログラム R値(熱抵抗値)入力 / 開口部U値

(※2) (ウ: 次世代基準適合) の選択でなく、(エ) (オ) やU値、R値を入力した場合には、次世代省エネ基準で定められている緩和規定を使うことはできませんのでご注意ください。
また、Q値計算されている場合には、計算通りの値を入力してください。
(緩和規定: 2%緩和、4%緩和、断熱抵抗値の緩和規定)